



2022年2月10日

各 位

会 社 名 株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル
代 表 者 名 代表取締役社長 田 中 謙 治
(コード番号：7345 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 島 田 和 紀
(TEL. 045-329-7150)

業績予想の修正及び配当予想に関するお知らせ

当社は、直近の業績動向を踏まえ、2021年6月23日に公表した通期連結業績予想を修正するとともに、未定としておりました期末配当予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,540	百万円 229	百万円 226	百万円 150	円 銭 188.97
今回修正予想 (B)	3,722 ～3,925	91 ～125	83 ～118	44 ～68	55.76 ～85.89
増減額 (B-A)	△818 ～△615	△138 ～△104	△142 ～△108	△105 ～△81	△133.21 ～△103.08
増減率 (%)	△18.0 ～△13.6	△60.3 ～△45.3	△63.0 ～△47.8	△70.4 ～△54.3	△70.5 ～△54.5
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	4,034	245	239	152	221.40

(2) 修正の理由

2021年6月23日に公表した「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」に記載のとおり、当社グループの連結売上高の大部分を占める金融商品仲介売上上の予想は、IFA数とIFA1人あたりの仲介手数料を乗じた額に証券会社ごとに定められた報酬率を乗じて計算しております。

2022年3月期におけるIFA1人あたりの月間仲介手数料は、2021年11月までは概ね計画と
 おりに進捗しておりましたが、新型コロナウイルス変異株への警戒や金融政策の正常化前倒
 し観測、地政学リスクの高まりなどを背景に国内外の株式市場が急落する事業環境の悪化に
 より、12月及び1月のIFA1人あたりの月間仲介手数料は、計画値を12月が30%強、1月
 が40%強下回る実績となり、かつ、足元の相場状況も不安定な値動きとなっていることから、
 2月及び3月の計画値を修正いたしました。

IFA数は、当期39名の純増（新規43名・解約4名）を見込み、第3四半期末時点で28名
 の純増（新規33名・解約5名）と計画値を若干下回る進捗ではありましたが、第4四半期会
 計期間において、事業環境の悪化により新規契約が伸び悩む見込みであることと契約更新等
 に伴う解約者が想定より多いと見通されることから、当期純増数を26名（新規35名・解約
 9名）と計画値を修正いたしました。

これらの結果、通期連結売上高の見通しを下方修正することといたしました。

費用につきましては、雇用契約のIFAが委任契約へ転換したことで、当該人員にかかる費用
 が給料等から売上原価に振り替わったものの、賃料等のオフィス費用やその他経費を含めた
 原価・費用の合計は概ね計画どおりに進捗しました。

これらの結果、利益につきましては、売上高の減少に伴う影響により、営業利益、経常利益、
 親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回予想を下回る見通しです。

なお、本業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づ
 いており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 配当予想について

(1) 2022年3月期配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想		円 銭 未定	円 銭 未定
今回修正予想		20.00	20.00
当期実績	0.00		
前期実績 (2021年3月期)	0.00	10.00	10.00

(2) 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、中長期的に企業
 価値を高めるとともに、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保し
 つつ、事業環境や業績、財務状況などを総合的に勘案したうえで、継続的かつ安定的な配当

を実施することを基本方針としております。

2022年3月期の期末配当予想につきましては、これまで未定としておりましたが、基本方針並びに前述の業績予想を踏まえた利益還元を行いたく、1株当たり20円の期末配当を実施する予定であります。

以 上